

製品別比較表

2020年4月改訂

製品名	ピオグリタゾン錠 15mg「TSU」	標準品
販売会社名	鶴原製薬株式会社	
薬価	16.6 円/錠	58.4 円/錠
薬効分類名	インスリン抵抗性改善剤 - 2型糖尿病治療剤-	
組成	1錠中ピオグリタゾンとして 15mg (ピオグリタゾン塩酸塩 16.53mg) 含有	
性状	白色～帯黄白色の割線入り素錠 識別記号 TSU587 直径：約 6.0mm 厚さ：約 2.4mm 質量：約 90mg	白色～帯黄白色の割線入りの素錠 直径：7.0mm 厚さ：2.4mm
添加物	乳糖水和物、カルメロースカルシウム、ヒドロキシプロピルセルロース、ステアリン酸マグネシウム	カルメロースカルシウム、ヒドロキシプロピルセルロース、ステアリン酸マグネシウム、乳糖水和物
効能・効果	2型糖尿病 ただし、下記のいずれかの治療で十分な効果が得られずインスリン抵抗性が推定される場合に限る。 1. ①食事療法、運動療法のみ ②食事療法、運動療法に加えてスルホニルウレア剤を使用 ③食事療法、運動療法に加えて α -グルコシダーゼ阻害剤を使用 ④食事療法、運動療法に加えてビッグアナイド系薬剤を使用 2. 食事療法、運動療法に加えてインスリン製剤を使用	
用法・用量	1. 食事療法、運動療法のみの場合及び食事療法、運動療法に加えてスルホニルウレア剤又は α -グルコシダーゼ阻害剤若しくはビッグアナイド系薬剤を使用する場合 通常、成人にはピオグリタゾンとして 15～30mg を1日1回朝食前又は朝食後に経口投与する。なお、性別、年齢、症状により適宜増減するが、45mg を上限とする。 2. 食事療法、運動療法に加えてインスリン製剤を使用する場合 通常、成人にはピオグリタゾンとして15mgを1日1回朝食前又は朝食後に経口投与する。なお、性別、年齢、症状により適宜増減するが、30mgを上限とする。	

標準製剤との同等性

ピオグリタゾン錠 15mg「TSU」は、「含量が異なる経口固形製剤の生物学的同等性試験ガイドライン(平成12年2月14日医薬審64号)」に基づき、ピオグリタゾン錠 30mg「TSU」を標準製剤としたとき、溶出挙動が等しく、生物学的に同等とみなされた。

